



テレビのケーブルについて



テレビケーブルの種類

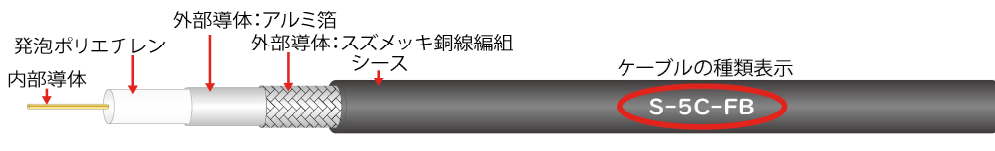
●平行フィーダー線

2本の銅線を使用したアンテナ線で、アナログ放送に使用されてきました。しかし、電波が減衰しやすく、金属に触れると電波が逃げてしまうなどの理由で今ではほとんど使われなくなりました。



●同軸ケーブル

構造は中心に心線（銅線）があり、その周りにポリエチレン等の絶縁体、その周囲を網組み銅線等の外部導体、外周にビニル等の保護被覆で覆われています。その多重構造によって、外部からの電磁波の影響を受けにくくなり、電波の減衰や雑音（ノイズ）による悪影響を低く抑え、高い品質が確保できるようになっています。



- 各記号の意味…「S-5C-FB」の場合
- S…対応する規格 SはsatelliteのSで、BS/CS（衛星放送2600Hz）に対応
 - 5…外部導体の直径(mm)
 - C…特性インピーダンス Cは75Ω
 - F…絶縁体に使用されている材料 Fは発泡ポリエチレン
 - B…外部導体の種類 Bはアルミ箔テープ付銅編組

4K対応はこれ！

同軸ケーブルでも、周波数が高くなったり巨長が長くなると、電波の減衰が発生します。ケーブルの種類によっても減衰量は変わります。減衰量の大きい順に記載すると、**3C-2V > 5C-FV > 5C-FB > S-5C-FB** になります。

3C-2Vは古い家の宅内配線に使われている場合がありますが、衛星放送は伝送できません。

ケーブルの種類と 対応周波数表	770MHz		1300MHz		2600MHz
	UHF(地デジ)	BS(右旋)	CS(右旋)	BS(左旋)	BS(左旋)
3C-2V 5C-FV	UHFまで				
5C-FB	BSまで				
S-4C-FB S-5C-FB			BS・CS対応		

ケーブルの長さが長くなるほど電波の受信が悪くなるので、長いケーブルを使う場合やケーブルの途中で分配する場合にはブースターを入れることも検討が必要になります。

よくわからない時は、**KCN安心サポート(有料)**をご検討ください！！
KCN安心サポートなら、訪問でTV接続のサポートを致します。